



三島予算審査特別委員長により本特別委員会に付託された全ての議案について委員会審査報告がされた後に、付託議案に対する討論がされました。

平成31年度 一般会計予算(議案第1号) への**賛成** 討論【要旨】

【小川 不朽 議員】

本年度予算規模は、平成28年度予算以来の大型予算となっている。要因は北海道新幹線関連として倶登山橋の架替事業で約4億5,000万円、移転対象者への宅地造成事業で約2億円、新幹線建設負担金で約1億円などを合わせた約8億円。さらには新年度から工事開始となる役場新庁舎建設の経費で約4億4,000万円などによるもの。その他、新規事業も多々あるが、昨年度実績に基づいて組み立てられた予算案であり、私は新年度予算案に対して賛成する。

行政の透明化をはかりながら執行されることを切に願ひ賛成討論する。

平成31年度 後期高齢者医療事業特別会計予算(議案第3号) への**反対** 討論【要旨】

【原田 芳男 議員】

平成20年4月から始まった後期高齢者医療制度は、75歳の誕生日から加入することになっている。昨年の国保の北海道一元化によって国保と一体に道の広域連合が運営している。

年金が引き下げられる中で、保険料も年々引き上げられ、高齢者がパート労働をしなければ生活が成り立たない状況。このような状況を一刻も早く改善する必要があり、後期高齢者医療保険を国保と一体で納入している方も状況は同じである。国保の後期高齢者分の均等割の廃止を国に求めるべきである。よって反対討論する。

俱知安町国民健康保険税条例の一部改正について(議案第12号) への**反対** 討論【要旨】

【原田 芳男 議員】

平成30年度から国民健康保険は北海道に一元化された。全国知事会も均等割の廃止を国に求めており、旭川市など全国で25の自治体が均等割の減免を実施しているのに、低所得者の負担を増やすやり方は許されない。今年も限度額を4万円引き上げる提案がされている。保険料の引き上げにあたって、説明責任が問われるのは明らか。税というかたちで強制力のある方法で賦課徴収するからには事前に説明が必要不可欠。均等割の廃止や広域連合からの脱退を求め、反対討論する。

平成31年度 一般会計予算(議案第1号) への**反対** 討論【要旨】

【原田 芳男 議員】

本年度予算は、前年度予算より16.95%増の91億9,600万円。主な要因は役場庁舎建設・G20会合関連などで、一般住民の暮らしに目を向けていない予算である。住民アンケートなどを基に予算要求をしたが、図書館の建設・福祉ハイヤーの所得制限の廃止・スクールバス路線の見直し・じゃがりん号の充実改善など、手を付けようとしなない。

副町長を1名体制にすることが条例提案され、2名体制に反対した者として英断に敬意を表します。G20観光大臣会合に5,300万円も支出するのは理解できない。国で行う事業になぜ町が支出する必要があるのか。国からの交付措置などあるのかと質問したが、納得のいく答弁はなかった。

住民の暮らしと営業を守る立場での町政を強く求め、反対討論する。

平成31年度 国民健康保険事業特別会計予算(議案第2号) への**反対** 討論【要旨】

【原田 芳男 議員】

平成30年度から国民健康保険は北海道に一元化され、制度の変更に伴って本町では資産割が廃止され、昨年度、限度額の医療分2万円引き上げで54万円に、高齢者支援分2万円引き上げで19万円になった。全国的に問題になっているのは、平等割や均等割など収入に関係なく課税される分です。現在、均等割は一人、医療分が2万5千円(平成31年度から)、高齢者医療支援分が8千円、介護分が9千円で合計4万2千円となっている。

平成30年度国民健康保険税の税率改正に伴う国保Q&Aでも加入者に占める低所得者の割合が高いので平等割・均等割を引き上げなければならないとしています。低所得者の負担を増やすやり方は許されない。

今回の引き上げの撤回と全国知事会も廃止を国に求め、全国で25の自治体が実施している均等割の減免と広域連合からの脱退を求め、反対討論する。